

宮竹少剣

平成 2 年 12 月 10 日

第 74 号

宮竹少年剣道クラブ育成会

❖ 創立20周年記念親善少年剣道大会 第20回合瀬杯争奪剣道大会 開催される

去る9月2日(日)宮竹少年剣道クラブ主催、南区剣道連盟後援による創立20周年記念行事が盛大に行われました。今年は体育館を、宮竹中学校へ移し広い体育館で大会が開催されました。

当日は晴天に恵まれ、午前の部より20回合瀬杯争奪剣道大会、午後の部南区内の道場及び各剣道教室15団体に参加して熱戦が繰り上げられました。

大会には福岡連合支部理事長篠原先生、南区連盟顧問長副先生、南区会長高木先生、審判長には福岡南区理事長、審判には南区の6段以上の先生が当たられるという他に類をみない記念大会でした。

校区内では谷公民館長を初め多数の来賓のご出席をいただきました。又、東京、大阪、京都より、この記念行事のため駆けつけてくれたO.B 地元のO.Bも沢山参加していただき盛会裡に終了することが出来ました。

第20回合瀬杯争奪剣道大会

9時開会 合瀬杯返還、来賓祝辞に初まり新入部員の基本練習O.Bの稽古披露(亀井、堀川夫妻、堀川、塚原、大洲、赤司、徳永)が終り試合開始、成績は別表の通りです。

尚20周年記念大会を祝し、優勝カップ、盾は合瀬先生の御厚意により今回は取り切りとなりました。又来年よりは新しいカップになると思います。

◎合瀬杯の成績

	優 勝	準 優 勝	サ 三 位
小学低学年	浦 大樹	久保田信也	日高 俊・徳本 健吾
小学高学年	友安 馨	上 孝史	近藤政豪・重田 義和
中 学 生	片岡浩二	中園 丈晴	谷 憲幸・松ヶ野雄作

創立20周年記念親善少年剣道大会

13時より開会。当クラブの浦大樹君の堂々たる選手宣誓に始まり赤司、松谷先生の日本剣道形。13時30分より試合開始。南区剣道教室11チーム 宮竹少剣より5チームが参加。又道場も4チームが参加しました。成績は下記の通りです。
宮竹チームは Aが4位でした。

○ 剣道教室の部

優勝	花畑少年剣道教室	2位	西高宮剣錬会
3位	日佐少年剣道教室	3位	鶴田少年剣道教室

○ 剣道道場の部

優勝	福岡如水館	2位	福岡王竜館
3位	福岡無想館	3位	誠心館

❖ 初段全員合格

福岡地区剣道連盟主催の審査会は去る8月12日(日)九電記念体育館にて行なわれました宮竹少剣より中学生5名が受審全員が合格しました。

合格者は下記通りです、尚高校生の中村圭一郎君も合格しました。

平原健一、片岡浩二、谷 憲幸、
松ヶ野雄作、宮本春二



❖ 対外試合の報告

○ 第8回筑紫権争奪少年剣道大会

主管 西高宮剣錬会でオ8回筑紫権争奪少年剣道大会は去る7月8日(日)西高宮小学校体育館にて開催されました。
宮竹少剣より低学年 5名 高学年 5名 中学生 6名が参加しました。

○ 第26回少年玉竜旗争奪剣道大会

主催 福岡玉竜館でオ26回少年玉竜旗争奪剣道大会は去る8月5日九電記念体育館にて開催されました。
宮竹少剣より 中学生5名が参加しました。

○ 第33回上峰町近畿少年剣道錬成大会

主催 上峰町剣道連盟にてオ33回上峰町少年剣道大会は去る8月26日(日)上峰農村勤労福祉センターにて開催されました。
宮竹少剣より小学生高学年5名 中学生5名の2チームが参加。

○ 第1回ジュニア剣道九州大会

主催 毎日新聞社にて オ1回ジュニア剣道九州大会が去る9月16日(日)福岡市民体育館にて開催されました。宮竹少剣より小学低学年1名 小学高学年2名 中学生2名 計5名の2チームが参加しました。

○ 少年剣道交流大会(第4回)

オ4回少年剣道交流大会は去る9月30日(日)南区体育館にて開催。
宮竹少剣より小学生低学年2名 高学年5名 計7名の混成チーム1チームが参加しました。



○ 護国神社秋季大祭奉納武道大会

護国神社秋季大祭少年剣道大会は去る10月10日(日) 体育の日
護国神社境内にて開催されました主催は護国体育協会、宮竹少剣より小学生 高学年5名の1チームが参加しました。

❖ 第18回南区剣道祭

第18回南区剣道祭は去る9月23日(祭) 南区体育館にて開催されました。

宮竹少剣より防具組全員指導部の先生も参加しました。

上位進出した部員は下記の通りです。

3回戦まで

浦、石蔵、今牧、八戸、金城、平原、上

4回戦まで

久保田、中園

指導部では一般3～4級の部で優勝 塚原先生、準優勝 林田先生
6級の部で赤司先生もオ3位に入賞されました。

❖ 南区昇級審査会の報告

南区昇級審査会は去る11月4日(日) 南区体育館にて開催されました。

宮竹少剣より下記の部員が合格しました。

1 級 ～ 東谷智幸

2 級 ～ 上 孝史 安部功一

3 級 ～ 小田淑子、小田誠、松尾陳代、松谷行敏

4 級 ～ 渡部浩介、徳永将人、藤原弘史



宮竹少剣20周年の記念行事を終えて

赤 司 六 哉

平成2年9月2日、宮竹少年剣道クラブ20周年の二つの行事が立派にそして無事に終了しました。その一つは、午前の部の第20回合瀬杯争奪剣道大会であり、他の一つは、午後の部の20周年記念親善少年剣道大会であります。この影には、合瀬先生を中心にした指導部、役員、運営委員、父母各位およびOBの皆さんの熱意と汗の運係プレーがありました。さらに、今年は、宮竹小学校の体育館は内部改装工事のため夏休みを挟んだ約1カ月半の間使用できない、という事情がありましたが、記念行事当日は宮竹中学校体育館を、また、夏休み中の子供達の練習には高木小学校体育館を借りることができまして事無きを得ました。これには、特に女性役員さん達のてきぱきとした働きがありました。

宮竹少年剣道クラブ一同、改めて20周年の喜びを分かち合いたいと思います。ただ、宮竹は、午後の部の親善少年剣道大会で入賞できませんでした。残念ですが、子供達の勝負に対する意欲と力不足ということもさることながら、吾々大人達の非も素直に認めざるを得ません。今後の練習態度あるいはその内容に対する生きた教訓として大事にしていきたいと思います。

20周年の行事を振り返ってみますと、次の際立った三つのことが念頭に浮んできます。第一は、宮竹一丸となってスムーズな運係プレーを演ずることができたことでもあります。このことは、特に取り立てて言うようなことではなくごく当り前のことと考えられがちですが、よそめには極めて羨しいことのようにです。第二は、南区剣道連盟のみならず個人としての先生方(とくに審判をお願いした)のご協力が何等抵抗なく得られたことです。このことも、小さな一剣道教室が何時でも何処でもしかもスムーズに行なえる芸当ではありません。

第三は、昭和40年から昭和50年にかけて小学・中学の9年間を宮竹少年剣道クラブに在籍した堀川兄弟(ご両親・兄夫婦そして弟の一家5名が揃って)が東京から参加してくれたこと、しかも、合瀬先生立

会のもとにOB8名（亀井、堀川兄弟、堀川兄夫人、塚原、大洲、赤司、徳永）の剣道稽古が披露されたことです。OB8名のうち福岡在住は3名で、他5名は東京、京都、大阪から駆けつけました。

以上、三つのことを挙げましたが、それらは何の不思議もなくとり行なわれました。この背後には、吾々大人達が十分に認識しておかねばならない、宮竹少年剣道クラブを育んできた非常に重要なバックボーン（精神的支柱）があります。それは合頼先生の人格（徳性、総望、力）と伝統の重みであります。そして、伝統の重みとは、青少年の健全育成という信条、剣道の理念、合頼先生という人格そのもの、を核として20年かけて太ってきた宮竹少年剣道クラブ会員の心と汗のかたまりであります。しかも、そのかたまりはちょっとした傷からでも非常にこわれやすいものでもあります。

この伝統の重みというかたまりは、30年、50年と、その重みを増してゆくことができます。そのためにはどうすれば良いのか。何も難しいことはありません。まず、日頃の練習を欠かさないようにすることが肝要であります。さらに、その練習の場で、子供同志の、大人同志の、そして子供と大人の肌の触れ合いを大切にすることであろうかと思えます。「交剣知愛」がそれでありましょう。

この20周年を機に、指導部、役員相俟って、日頃の練習と試合参加の在り方、父母の皆さんと役員との連係の在り方など、いわゆる宮竹少年剣道クラブの運営について検討、調整していきたいと考えております。皆さんのご協力とご意見提示をよろしくお願いいたします。

剣道の理念

剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である。

